

伊藤園



事業報告書

平成16年4月期 平成15年5月1日～平成16年4月30日

自然が好きです

自然

健康

安全

良いデザイン

おいしい

目次

株主の皆様へ.....	1	財務データ	10	会社の概要.....	18
営業の概況.....	2	営業データ(単独).....	13	株式の状況.....	19
トピックス.....	4	連結財務諸表.....	14	役員 / 株主メモ.....	20
新製品の紹介.....	9	単独財務諸表.....	17		

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より格別のご愛顧とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、伊藤園グループの平成16年4月期(平成15年5月1日から平成16年4月30日まで)の営業の概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期におけるわが国の経済は、企業収益の改善による設備投資の増加、株式相場の回復等、年度後半から回復の兆しが見受けられましたが、個人消費につきましては、厳しい雇用情勢に加え、社会保険料負担の増大や厚生年金の保険料率引き上げといった先行き不安を背景に、依然厳しい状況で推移いたしました。

飲料業界におきましては、昨年に引き続き、茶系飲料を中心とする無糖飲料および機能性飲料が好調でありましたが、7月、8月の記録的な冷夏の影響や、販売価格の下落等により、各企業の経営環境は厳しく推移いたしました。

このような状況のなかで、当グループは「お客様第一主義」の経営理念に基づき、「お客様が今でも何を不満に思っているか」を考え、積極的な製品開発と営業力の強化に加え、借入金の全額返済による財務体質の強化に努めてまいりました。

この結果、当期の連結業績につきましては、売上高2千392億3千5百万円、営業利益175億5百万円、経常利益166億9百万円、当期純利益87億3千1百万円となりました。

また、当期の利益配当金につきましては、前期と比べ1株につき5円50銭増配し、1株につき28円50銭とし、平成16年1月15日に実施いたしました中間配当金1株につき21円50銭とあわせ、合計1株につき50円の年間配当金とさせていただきます。

今後も当グループは「お客様第一主義」に徹し、お客様に満足のいただける製品の開発とサービスの向上に努め、「お~いお茶」ブランドを中心とする個別ブランドの強化をさらに推し進めるとともに、財務体質の強化を図り、平成19年4月期における連結中長期の経営目標を達成できるよう、さらなる業績の向上に邁進し、株主の皆様への利益還元に積極的に取り組んでまいり所存であります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年7月

営業の概況

< 茶葉(リーフ)関連事業 >

平成15年度の緑茶(荒茶)の国内生産量は、飲料(ドリンク)用原料の需要が好調なことに加え、輸入農産物の表示・安全性への社会的関心の高まりから、国内生産への需要が高まり、二番茶以降の生産が増え、9万1千9百トン(前年比9.8%増)と大幅な増産となりました。また緑茶(荒茶)の輸入量につきましては1万2百トン(前年比13.1%減)となりました。

需要面につきましては、お客様の嗜好が飲料(ドリンク)製品に移行していることや、ギフト用製品の落ち込みにより、減少傾向にあります。しかしながら、ティーバッグ等日本茶簡便商品は2ケタ伸長を続け、お客様のニーズの多様化が進んでいることがうかがえます。

このような状況のなかで、当グループは原料の選定から製造・物流にいたるまで徹底的に品質管理を行い、お客様のニーズに沿った製品づくりを行いました。冷たい水で茶葉(リーフ)を楽しみたいというお客様のご要望に応え、水出しでも強い香り立ちを実現した「ワンポット緑茶」に加え、夏期限定で「水出し夏冷茶」を発売いたしました。

インスタント緑茶では、味、色、香りの鮮度を長期間保持するため、開封後の密封性に優れたガラス瓶を採用し、独自の火入れ乾燥技術と抽出技術「ナチュラル・フレッシュ製法」を使用した「お~いお茶さらさら緑茶 瓶入り40g」「おいしくダイエットサポート緑茶 瓶入り40g」を発売いたしました。

この結果、茶葉(リーフ)関連事業の売上高は283億1千7百万円(前期比0.8%増)となりました。



< 飲料(ドリンク)関連事業 >

平成15年度の飲料市場は、夏期は長梅雨と日照不足による冷夏となり、冬期は暖冬となるなど、天候に大きく左右されました。

このような状況のなかで、当グループは、「自然・健康・安全・良いデザイン・おいしい」を製品開発の基本理念に、積極的に新製品の開発、および既存製品の改良に取り組み、一層のブランド強化に努めました。

日本茶飲料につきましては、主力製品であります緑茶飲料ナンバーワンブランド「お~いお茶」の「原料茶」と「抽出技術」にこだわり、従来の季節限定品のほか、地域向け製品を導入するなど、ブランドの強化に一層努め、「お~いお茶」ブランドの全体の売上高は1千30億9千9百万円(前期比17.5%増)、販売数量は5,893万ケース(前期比17.9%増)と大きく伸長いたしました。

この結果、日本茶飲料の売上高につきましては、1千180億1千5百万円(前期比19.0%増)と大幅な増収となりました。

その他の飲料につきましては、カフェのおいしさにこだわったコーヒー飲料「サロンドカフェ」ブランドを発売し、本格的にコーヒー市場に参入いたしました。また、健康志向の高まりとともに注目されている「保健機能食品」(特定保健用食品および栄養機能食品)の品揃えを強化した結果、機能性飲料の売上高は76億9千8百万円(前期比76.1%増)と大きく伸長いたしました。

この結果、飲料(ドリンク)関連事業の売上高は2千79億6千9百万円(前期比12.7%増)となりました。

< その他の事業 >

その他の事業におきましては、売上高は29億4千8百万円(前期比32.6%増)となりました。



連結売上高の内訳

		平成15年4月期		平成16年4月期		対前期比	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
茶葉(リーフ)関連事業	緑茶	22,667	10.6%	22,404	9.4%	263	1.2
	その他	5,432	2.5	5,913	2.5	480	8.8
茶葉(リーフ)関連事業計		28,100	13.1	28,317	11.9	217	0.8
飲料(ドリンク)関連事業	日本茶	99,158	46.2	118,015	49.3	18,856	19.0
	中国茶	17,532	8.2	14,873	6.2	2,659	15.2
	野菜	22,965	10.7	23,886	10.0	921	4.0
	果実	11,989	5.6	12,655	5.3	665	5.6
	コーヒー	15,481	7.2	17,216	7.2	1,734	11.2
	紅茶	7,302	3.4	6,855	2.9	446	6.1
	機能性	4,371	2.0	7,698	3.2	3,327	76.1
飲料(ドリンク)関連事業計		184,484	85.9	207,969	86.9	23,484	12.7
その他の事業		2,223	1.0	2,948	1.2	725	32.6
合計		214,808	100.0	239,235	100.0	24,426	11.4

連結売上高の内訳

当期から茶葉(リーフ)関連事業の「ウーロン茶」を茶葉(リーフ)関連事業の「その他」に、飲料(ドリンク)関連事業の「炭酸」を飲料(ドリンク)関連事業の「その他」にそれぞれ含めて表示することに変更いたしました。また、当期から飲料(ドリンク)関連事業の「その他」に含めていた「機能性」を区分表示することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前期につきましても同一基準に基づき、区分表示しております。

設備投資および資金調達の状況

当期における設備投資額は、4億8千1百万円であります。その主なものは、営業

拠点並びに福利厚生施設の改修等であります。なお、これらにともなう資金はすべて自己資金にて充当いたしました。

また、当社は運転資金の効率的な調達を行うため、平成15年6月に取引銀行

9行との間でシンジケーション方式により総額100億円のコミットメントライン契約を締結いたしました。なお、当期におきましては、当該コミットメントラインの実行は行っておりません。

会社が対処すべき課題

飲料業界におきましては、茶系飲料などの無糖飲料市場を中心に販売競争が激化し、企業間の生存競争が激しさを増す中、製品の安全性、品質管理体制、環境問題への取り組みなど、企業の社会的責任に、より一層消費者の厳しい目が向けられております。

当グループといたしましては、緑茶飲料ナンバーワンブランド「お~いお茶」を中心に、積極的に販売促進活動を行うとともに、特定保健用食品や栄養機能食品

といった新しいカテゴリーの製品開発にも取り組み、お客様にご満足いただけるサービスに努めてまいります。

当グループでは品質管理、環境問題に積極的に取り組んでおり、当社生産本部はすでに、環境マネジメントシステムに関する国際規格「ISO14001」を、また、当社生産本部並びに連結子会社伊藤園産業株式会社製造事業部榛原事業所が品質マネジメントシステムに関する国際規格「ISO9001」の認証を取得しております。

また、当社では環境問題への取り組みとして、平成17年4月までに全車両の約20%

を低公害車とする目標を掲げ、物流活動における二酸化炭素排出量の抑制を推進しております。平成16年4月には、飲料業界初のハイブリッドトラック20台を関東、関西地区に導入し、順次全国に展開していくことで、地球温暖化、大気汚染の抑制に積極的に取り組んでまいります。

当グループでは、これら環境問題への取り組みを、環境報告書「E Book」を通してお客様にお伝えするとともに、社員一人ひとりが「社会に何をもたらすことができるか」を考え、事業活動を通じて社会貢献に取り組むことで、企業と社会との持続的発展を目指しております。

トピックス

平成16年1月30日に東京証券取引所より情報開示に優れた企業を対象とする「第九回ディスクロージャー表彰」(2,058社対象)ならびに「第二回個人株主拡大表彰」(2,125社対象)を受賞致しました。ディスクロージャー表彰については第四回にも受賞しており、今回で2度目となります。さらに、これらの賞を同時に受賞することは全上場会社でも初めてのケースとなりました。

当社はこれまで、事業報告書を含むIRツールや決算説明会の見直し、月次販売速報をホームページ上で開示、個人投資家向け会社説明会の積極的な実施などの地道なIR活動を続けております。



ディスクロージャー表彰



個人株主拡大表彰

ダブル受賞 第九回「ディスクロージャー表彰」 及 第二回「個人株主拡大表彰」の



今回の「第九回 ディスクロージャー表彰」の受賞ポイントは、決算短信においては、たとえば「ブランド戦略」について、今後の経営方針が具体的に把握できる内容となっているなど、分かりやすい記述になっている点や、事業報告書においては、投資家にとって有用な情報を開示し、さらに財務データをグラフ化するなど情報の掲載にも工夫が見られた点が評価されました。

また「第二回個人株主拡大表彰」においては、以前より実施している株主優待や増配の実施など個人投資家向けの施策に重点を置いており、その結果、3期前と比較して個人株主数が約5倍と増加している点が受賞のポイントとなりました。

今後とも個人投資家を含むすべてのの方々に速やかに情報を開示することを心掛け、「お客様第一主義」の経営基本理念をもとに、魅力ある企業を目指してまいります。



第十五回

「お〜いお茶 新俳句大賞」



誰でも気軽に参加できる「既存概念を取り払った腕試しの場」、あるいは「俳句の新しい楽しみ方ができる場」として定着してきています。また学生からの応募が全体の約8割と多いのも特徴であり、学校の授業にも採用されるまでに浸透してきております。

当社の主力ブランドである「お〜いお茶」の製品パッケージに作品を掲載し、多くの人に鑑賞していただき、「新俳句」の輪を広げることで、日本の伝統文化である俳句を新しい形で発展させております。

文部科学大臣奨励賞

星の夜は暗闇までも透き通る

小学生の部 大賞

キャッチャーの前を横切るしゃぼん玉

中学生の部 大賞

国語辞典開いたところ「初夏」だった

高校生の部 大賞

ゆびきりを見とどけ帰る赤とんぼ

一般の部A(40歳未満)大賞

ミュンヘンの雪で切手を貼りました

一般の部B(40歳以上)大賞

花おわる樹にやわらかき息のあり

英語俳句の部 大賞

A dandelion while standing on tiptoe waits for wind

(日本語訳 タンポポ 爪先立って 風を待つ)

毎年恒例の「伊藤園お〜いお茶 新俳句大賞」も今回で15回目を迎えて、応募作品数1,401,095句と、国内創作コンテストでは最多の応募数記録を更新しました。第一回の41,373句から回を重ねるごとに増え続け、第十一回以降は5年連続で100万句を超えるまでになり、今回も過去最多の応募数となりました。

この「伊藤園お〜いお茶 新俳句大賞」は、「お〜いお茶」のPRキャンペーンとして、パッケージを発表メディアに活用するというユニークな発想から、平成元年に始まった創作コンテストです。従来俳句に必要な季語や定型などの制限をできるだけ省き、五・七・五のリズムで自由に表現できる“新俳句”であります。



受賞作品は「お〜いお茶」のパッケージに順次掲載していきます。

平成 16年5月1日より当社ホームページをリニューアルしました。お客様に当社をより深く理解していただき、親しみを感じていただける構成、デザインへと改良しております。そのなかで代表的なものをご紹介します。



「特集」、「キャンペーン情報」コーナーの新設

「特集」コーナーでは、当社が展開している茶産地育成事業の概要など当社が取り組んでいる活動を定期的にご紹介しております。また「キャンペーン情報」コーナーにおいては、実施しているキャンペーンの最新情報の詳細をタイムリーにお知らせしております。



ホームページをリニューアル

「商品情報」コーナーの充実

商品の種類、ブランド、さらには、「特定保健用食品」や「季節限定品」などの商品の属性からも検索が可能となり、お客様の目的に応じて、利便性を考慮した構成となっております。

ホームページアドレス

<http://www.itoen.co.jp>



「お茶百科」コーナーの新設

「お茶百科」コーナーを新設し、お茶のトップメーカーの伊藤園だからこそ伝えられるお茶に関する情報を提供しています。このコーナーではお茶に関心を持たれるお客様の興味や疑問におこたえできるページ構成にしました。お茶の成分や効能、お茶をおいしくいれるコツ、お茶を使ったレシピなど、普段から身近な飲み物であるお茶についての情報が満載されております。

地球温暖化や大気汚染など、地球環境に対する諸問題への意識が高まっております。ルートセールスを基盤とする当社におきましては、営業用車両約2,800台を保有しており、車両の排気ガスによる環境負荷の抑制を重点課題として取り組んでおります。平成10年にいち早く天然ガストラックを採用するなど、現在「伊藤園 環境中期目標」で定めた低公害車の導入計画「平成17年4月期、導入率10%以上」を一年前倒しで達成しました。それを受けて、平成17年4月末までに全車両の約20%の低公害車を保有することを新たな目標といたしました。平成16年4月には飲料業界で初となるハイブリッドトラック(積載2t車)20台を関東、関西地区に導入し、今後も積極的にハイブリッドトラックを導入していく予定であります。

このハイブリッドトラックは温室効果ガス(二酸化炭素など)の排出量が従来のディーゼルトラックと比較して約25%低減でき、1台当たり年間2トンCO₂の削減が見込まれます。

飲料業界初の ハイブリッドトラックを導入

また、信号待ちや渋滞時にエンジンを自動停止、稼動するアイドル・ストップ・システムが装備されており、平成11年より全社で取り組んでいるアイドリングストップ運動の促進にもつながります。

当社は今後も物流活動における環境負荷低減の施策を積極的に推進してまいります。



循環型社会へ 向けて

企業は製造、販売などの事業活動において、地球環境に負荷を与えています。当社では、生葉生産時の適切な施肥、飲料製造時に排出する茶殻や飲用後の空き容器のリサイクルなどに取り組んでいます。効率的かつ有用な事業活動を目指し、原料生産～製品製造～販売・消費のすべての工程において循環型社会へ貢献できる仕組みづくりを心掛けています。

原料生産工程



製品製造工程

自社リーフ工場

- ・ISO9001取得
品質マネジメントに関する国際規格
- ・ISO14001取得
環境マネジメントに関する国際規格

委託工場

- ・全国約40の協力工場
飲料製造時には、当社の品質管理担当者を立ち合わせ、製造管理を徹底する。

販売・消費工程

消費者・小売店



空き容器の
自主回収は
ルートセールス
の強み



適切な業者に委託し、
リサイクルに貢献

- ・品質の向上と低コスト化
- ・農業の安定経営と原料の安定供給
- ・環境と共存する茶園経営の推進

伊藤園がかかわる茶園の
二酸化炭素の固定吸収量は
年間で約90,000トンCO₂
(排出量は約29,000トンCO₂)



新製品の紹介

お~いお茶 濃い味

500mlペットボトル
平成16年5月24日発売

1日分の野菜

280gペットボトル
平成16年5月17日発売

Salon de Café (サロンドカフェ) モカ / カプチーノ

190g缶
平成16年1月19日発売



濃い味 烏龍茶

500mlペットボトル
平成16年5月17日発売

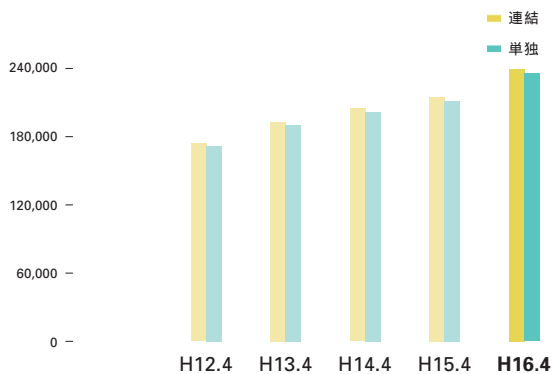
つーばーオレンジ

(栄養機能食品)

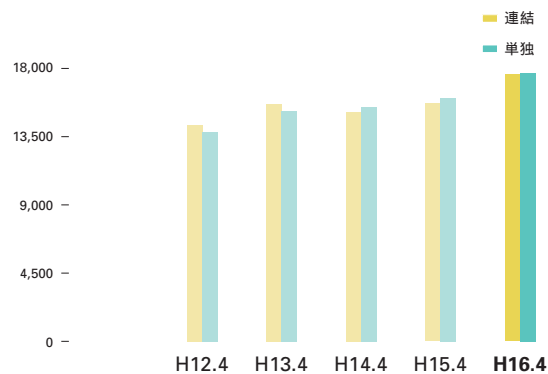
280gペットボトル
平成16年7月5日発売

財務データ

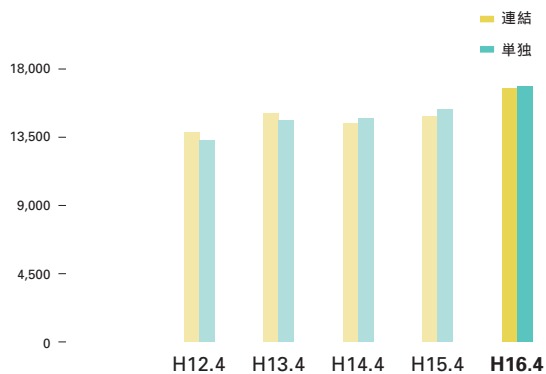
売上高 (単位:百万円)



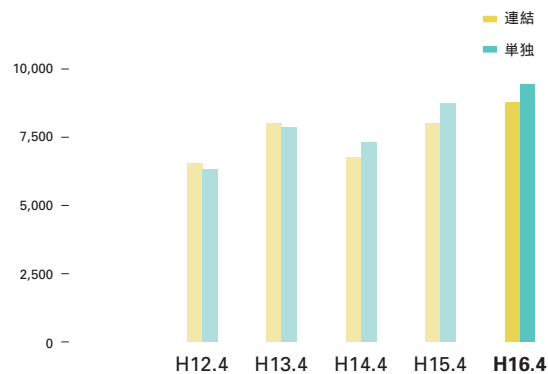
営業利益 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



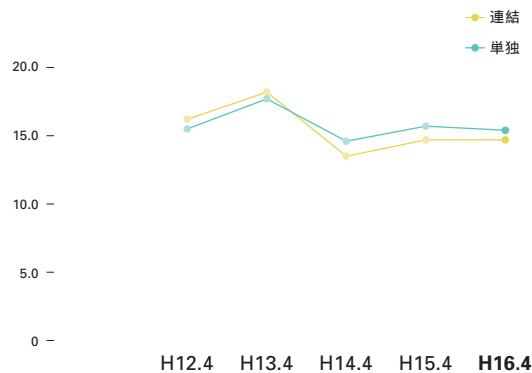
当期純利益 (単位:百万円)



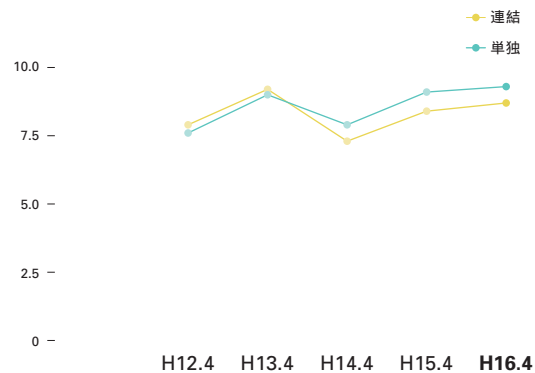
単位:百万円

	平成12年4月期		平成13年4月期		平成14年4月期		平成15年4月期		平成16年4月期	
	連結	単独	連結	単独	連結	単独	連結	単独	連結	単独
売上高	173,966	171,628	192,709	190,242	204,730	201,911	214,808	211,495	239,235	235,629
営業利益	14,266	13,788	15,666	15,185	15,148	15,439	15,694	16,038	17,505	17,678
経常利益	13,790	13,317	15,068	14,598	14,417	14,733	14,879	15,306	16,609	16,858
当期純利益	6,530	6,320	8,017	7,852	6,753	7,328	8,003	8,723	8,731	9,451

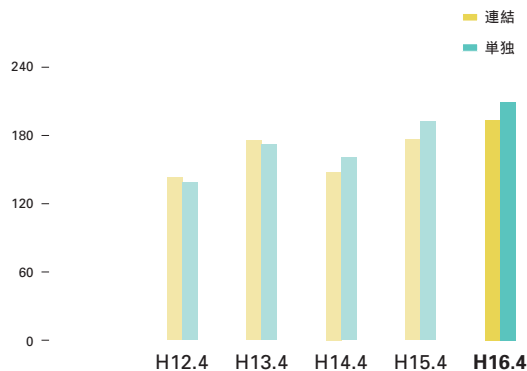
株主資本利益率 (ROE) (単位: %)



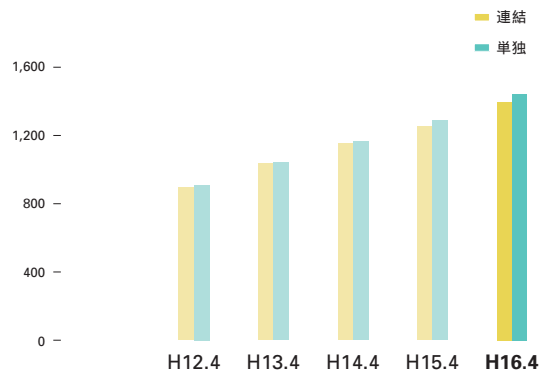
総資産利益率 (ROA) (単位: %)



一株当たり当期純利益 (単位: 円)

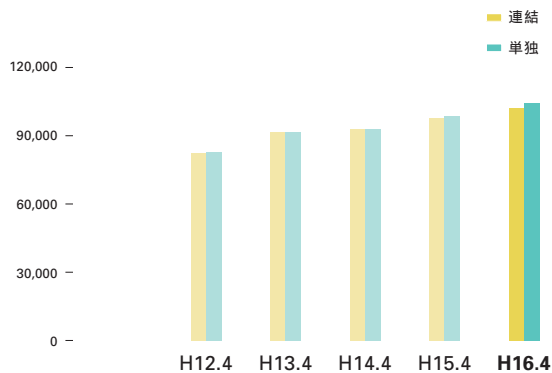


一株当たり株主資本 (単位: 円)

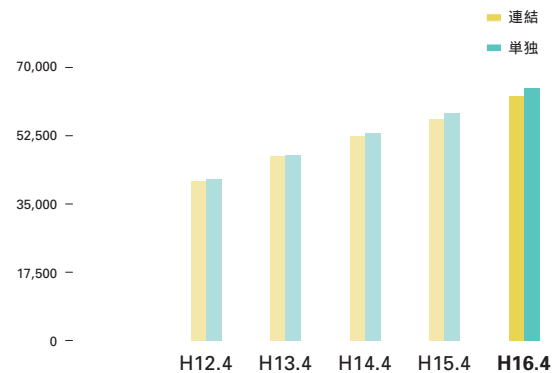


	平成12年4月期		平成13年4月期		平成14年4月期		平成15年4月期		平成16年4月期	
	連結	単独	連結	単独	連結	単独	連結	単独	連結	単独
株主資本利益率(ROE %)	16.2	15.5	18.2	17.7	13.5	14.6	14.7	15.7	14.7	15.4
総資産利益率(ROA %)	7.9	7.6	9.2	9.0	7.3	7.9	8.4	9.1	8.7	9.3
一株当たり当期純利益 (円)	143.18	138.59	175.79	172.18	148.08	160.70	176.43	192.32	193.48	209.43
一株当たり株主資本 (円)	894.25	909.06	1,037.37	1,041.33	1,151.36	1,164.11	1,253.27	1,287.89	1,388.04	1,444.36

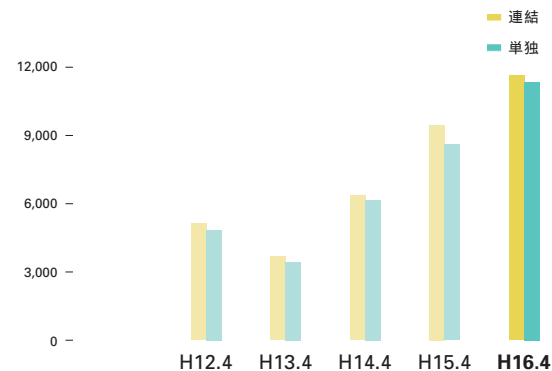
総資産（単位:百万円）



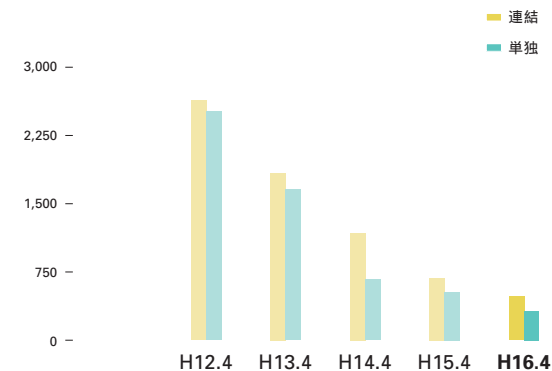
株主資本（単位:百万円）



フリーキャッシュ・フロー（単位:百万円）



設備投資額（単位:百万円）



単位:百万円

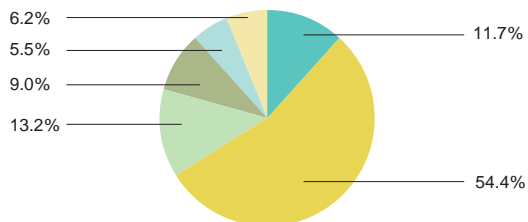
	平成12年4月期		平成13年4月期		平成14年4月期		平成15年4月期		平成16年4月期	
	連結	単独	連結	単独	連結	単独	連結	単独	連結	単独
総資産	82,386	82,680	91,645	91,539	92,773	92,928	97,726	98,839	102,055	104,123
株主資本	40,783	41,458	47,310	47,491	52,508	53,090	56,679	58,245	62,258	64,784
フリーキャッシュ・フロー	5,143	4,848	3,669	3,448	6,371	6,155	9,467	8,599	11,584	11,353
設備投資額	2,636	2,514	1,839	1,655	1,180	666	686	532	481	320

フリーキャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

営業データ(単独)

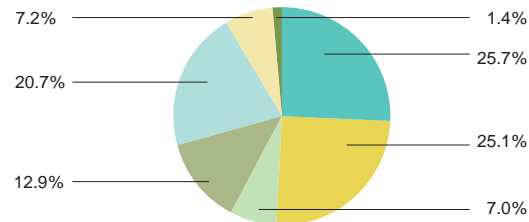
地区別売上高構成比

(平成16年4月期)

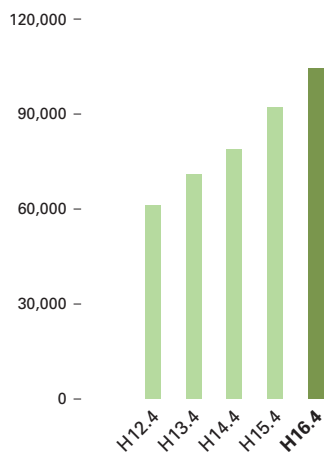


業態別売上高構成比

(平成16年4月期)

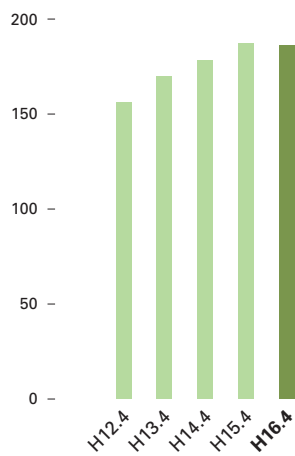


自動販売機設置台数 (単位:台)



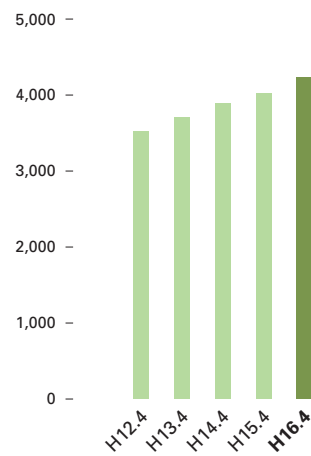
営業拠点数

(単位:拠点)



従業員数

(単位:人)



連結財務諸表

連結貸借対照表

	単位:百万円	
	平成15年 4月期	平成16年 4月期
(資産の部)		
流動資産	65,832	70,278
現金及び預金	24,021	25,237
受取手形及び売掛金	18,957	20,235
たな卸資産	15,531	15,094
未収入金	5,350	7,622
繰延税金資産	1,296	1,440
その他	747	726
貸倒引当金	71	79
固定資産	31,893	31,776
<有形固定資産>	20,067	19,407
建物及び構築物	10,509	9,949
土地	8,123	8,123
その他	1,434	1,334
<無形固定資産>	766	611
<投資その他の資産>	11,058	11,758
投資有価証券	1,900	3,315
繰延税金資産	1,133	368
再評価に係る繰延税金資産	2,111	2,121
その他	6,088	6,127
貸倒引当金	175	175
資産合計	97,726	102,055

流動資産

原材料の有償支給代等に係る未収入金が前期末と比べて22億7千1百万円増加したこと、また売上高の増加に伴い受取手形及び売掛金が前期末と比べて12億7千8百万円増加したことなどにより、流動資産は前期末と比べて44億4千5百万円増加いたしました。

投資その他の資産

株式相場の回復等により、投資有価証券が前期末と比べて14億1千5百万円増加いたしました。繰延税金資産が7億6千5百万円減少いたしました。これらの理由により、投資その他の資産は前期末と比べて6億9千9百万円増加いたしました。

	単位:百万円	
	平成15年 4月期	平成16年 4月期
(負債の部)		
流動負債	38,043	37,202
買掛金	16,986	20,800
短期借入金	6,653	-
未払費用	6,278	8,269
未払法人税等	4,634	4,132
その他	3,490	4,000
固定負債	3,002	2,595
退職給付引当金	1,872	1,914
その他	1,130	680
負債合計	41,046	39,797
(少数株主持分)		
少数株主持分	-	-
(資本の部)		
資本金	12,655	12,655
資本剰余金	13,002	13,002
利益剰余金	36,130	42,849
土地再評価差額金	3,102	3,092
その他有価証券評価差額金	72	792
為替換算調整勘定	471	715
自己株式	1,606	3,233
資本合計	56,679	62,258
負債、少数株主持分及び資本合計	97,726	102,055

流動負債

財務体質強化のため銀行借入金66億5千3百万円を全額返済いたしました。前期末と比べて仕入に係る買掛金が38億1千4百万円、経費に係る未払費用が19億9千万円それぞれ増加いたしました。これらの理由により、流動負債は前期末と比べて8億4千1百万円減少いたしました。

自己株式

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため、自己株式16億2千4百万円(37万株)を取得いたしました。

連結損益計算書

	単位:百万円	
	平成15年 4月期	平成16年 4月期
売上高	214,808	239,235
売上原価	107,868	118,850
売上総利益	106,940	120,384
販売費及び一般管理費	91,245	102,879
営業利益	15,694	17,505
営業外収益	161	158
営業外費用	976	1,053
経常利益	14,879	16,609
特別利益	847	9
特別損失	587	152
税金等調整前当期純利益	15,138	16,466
法人税、住民税及び事業税	7,479	7,616
法人税等調整額	344	118
少数株主利益	0	-
当期純利益	8,003	8,731

連結剰余金計算書

	単位:百万円	
	平成15年 4月期	平成16年 4月期
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	13,002	13,002
資本剰余金増加高	-	-
資本剰余金減少高	-	-
資本剰余金期末残高	13,002	13,002
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	29,986	36,130
利益剰余金増加高	8,003	8,731
利益剰余金減少高	1,860	2,012
利益剰余金期末残高	36,130	42,849

売上高

日本茶飲料が前期と比べて188億5千6百万円増加したことなどにより、飲料関連事業の売上高は2千79億6千9百万円(前期比12.7%増)となりました。また茶葉関連事業の売上高は283億1千7百万円(前期比0.8%増)、その他の事業の売上高は29億4千8百万円(前期比32.6%増)で、連結売上高の合計では2千392億3千5百万円(前期比11.4%増)となりました。

利益

売上総利益は前期と比べ134億4千4百万円増加(前期比12.6%増)し、1千203億8千4百万円となりました。営業利益は前期と比べ18億1千1百万円増加(前期比11.5%増)し、175億5百万円となりました。経常利益は前期と比べ17億3千万円増加(前期比11.6%増)し、166億9百万円となりました。当期純利益は前期と比べ7億2千8百万円増加(前期比9.1%増)し、87億3千1百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	平成15年 4月期	平成16年 4月期
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	15,138	16,466
減価償却費	1,261	1,205
退職給付引当金の増加額	247	42
売上債権の増加額	749	1,294
たな卸資産の減少額	310	409
仕入債務の増加額	218	3,825
法人税等の支払額	5,973	8,114
その他	532	49
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,987	12,490
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券・投資有価証券の取得による支出	1,021	200
有形固定資産・無形固定資産及び 長期前払費用の取得による支出	965	707
その他	466	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,520	905
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	1,552	6,653
自己株式の取得による支出	1,605	1,626
配当金の支払額	1,816	2,012
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,973	10,291
現金及び現金同等物に係る換算差額	103	76
現金及び現金同等物の増加額	4,390	1,216
現金及び現金同等物の期首残高	19,630	24,021
現金及び現金同等物の期末残高	24,021	25,237

営業活動によるキャッシュ・フロー

当期の税金等調整前当期純利益は、前期に比べ13億2千7百万円増加いたしました。また、売上高の増加に伴い売上債権が12億9千4百万円、仕入債務が38億2千5百万円増加したことなどにより、営業活動から得られた資金は124億9千万円(前期比15億3百万円増)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

営業拠点並びに福利厚生施設の改修等を行ったことにより、投資活動に使用された資金は9億5百万円(前期比6億1千4百万円減)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務体質強化のため銀行借入金66億5千3百万円を全額返済したこと、配当金の支払を行ったことおよび自己株式を取得したことにより、財務活動に使用された資金は102億9千1百万円(前期比53億1千8百万円増)となりました。

単独財務諸表

単独貸借対照表

	単位:百万円	
	平成15年 4月期	平成16年 4月期
(資産の部)		
流動資産	63,566	67,779
固定資産	35,272	36,344
<有形固定資産>	17,848	17,373
<無形固定資産>	600	464
<投資その他の資産>	16,823	18,506
資産合計	98,839	104,123
(負債の部)		
流動負債	37,686	36,836
固定負債	2,907	2,502
負債合計	40,593	39,339
(資本の部)		
資本金	12,655	12,655
資本剰余金	13,002	13,002
利益剰余金	37,226	44,665
土地再評価差額金	3,102	3,092
その他有価証券評価差額金	71	786
自己株式	1,606	3,233
資本合計	58,245	64,784
負債及び資本合計	98,839	104,123

利益処分

	単位:百万円	
	平成15年 4月期	平成16年 4月期
当期末処分利益	9,599	10,232
任意積立金取崩額		
固定資産圧縮積立金取崩額	4	5
合計	9,604	10,238
利益配当金	1,040	1,278
任意積立金		
固定資産圧縮積立金	10	-
別途積立金	6,800	5,800
次期繰越利益	1,753	3,159

(参考)一株当たり配当金

	平成12年 4月期	平成13年 4月期	平成14年 4月期	平成15年 4月期	平成16年 4月期
中間	17円50銭	17円50銭	20円	20円	21円50銭
期末	17円50銭	22円50銭	20円	23円	28円50銭
年間	35円	40円	40円	43円	50円

単独損益計算書

	単位:百万円	
	平成15年 4月期	平成16年 4月期
売上高	211,495	235,629
売上原価	107,062	117,846
売上総利益	104,432	117,782
販売費及び一般管理費	88,393	100,103
営業利益	16,038	17,678
営業外収益	212	210
営業外費用	945	1,029
経常利益	15,306	16,858
特別利益	826	9
特別損失	585	88
税引前当期純利益	15,547	16,779
法人税、住民税及び事業税	7,184	7,301
法人税等調整額	360	26
当期純利益	8,723	9,451
前期繰越利益	1,780	1,753
中間配当額	904	972
当期末処分利益	9,599	10,232

単独キャッシュ・フロー計算書

	単位:百万円	
	平成15年 4月期	平成16年 4月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,335	12,865
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,735	1,511
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,973	10,291
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	1
現金及び現金同等物の増加額	3,620	1,059
現金及び現金同等物の期首残高	18,505	22,125
現金及び現金同等物の期末残高	22,125	23,185

会社の概要

(平成16年4月30日現在)

会社名

株式会社 **伊藤園**

英文社名

ITO EN, LTD.

URL

<http://www.itoen.co.jp>

本社

東京都渋谷区本町3丁目47番10号

設立

昭和41年8月22日

資本金

12,655,340,000円

従業員数

4,229名

支店、営業所および出張所

全国26地区186拠点

直営店(専門店)

全国139店舗

工場

静岡相良工場

(静岡県榛原郡相良町女神21)

浜岡工場

(静岡県御前崎市新野3406-4)

福島工場

(福島県福島市荒井字河原畑6-1)

研究所

中央研究所

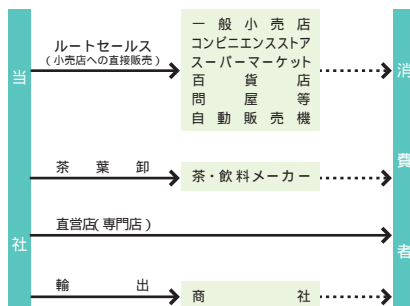
(静岡県榛原郡相良町女神21)

連結子会社の状況

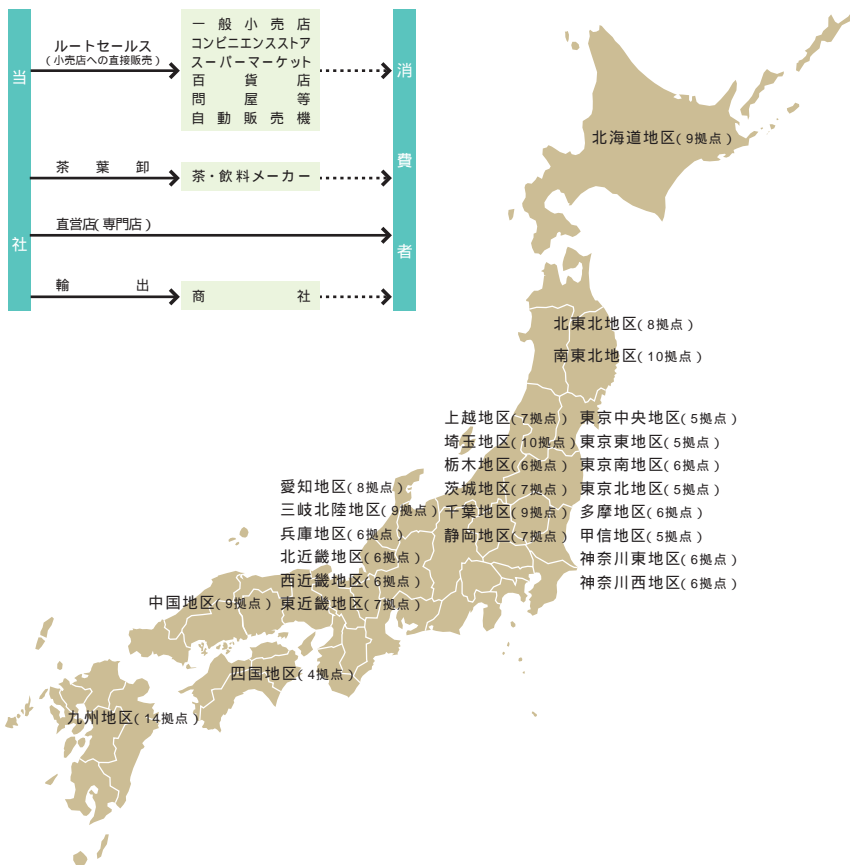
会社名	資本金	持株比率	主要な事業内容
伊藤園産業株式会社	300百万円	100.0%	茶類製造販売、貨物運送取扱事業
株式会社沖縄伊藤園	10百万円	100.0%	飲料、茶葉販売
株式会社伊藤園関西茶業	10百万円	100.0%	緑茶、麦茶、進物用製品製造販売
ITO EN (North America) INC.	2,600万US\$	100.0%	飲料、茶葉製造販売、ティーショップの経営
ITOEN (USA) INC.	2,150万US\$	100.0%	飲料、食品製造販売
ITO EN AUSTRALIA PTY. LIMITED	1,050万A\$	100.0%	緑茶製造販売
KAI (North America) LLC.	140万US\$	100.0%	レストランの経営

KAI (North America) LLC. の議決権比率につきましては、間接所有割合であります。

当社の販売方法



地区別営業拠点



株式の状況

(平成16年4月30日現在)

会社が発行する株式の総数

80,000,000株

発行済株式の総数

45,606,190株

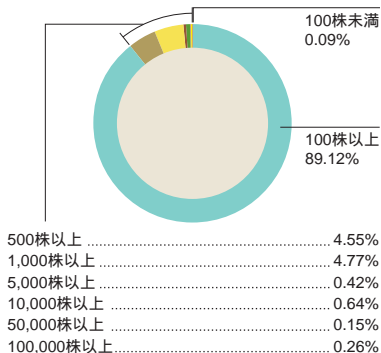
株主数

23,445名

地域別株主比率



所有株式数別株主比率

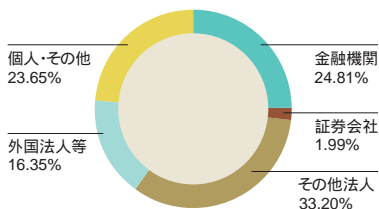


大株主

株主名	持株数	持株比率
グリーンコア株式会社	10,086千株	22.11%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,608	7.91
財団法人本庄国際奨学財団	2,600	5.70
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,823	3.99
本庄八郎	1,471	3.22
株式会社りそな銀行	817	1.79
野村證券株式会社	749	1.64
シーエーアイエス バンク ルクセンブルグクライアント アカウント	619	1.35
伊藤園従業員持株会	605	1.32
ステート ストリート バンク アンドトラストカンパニー	500	1.09

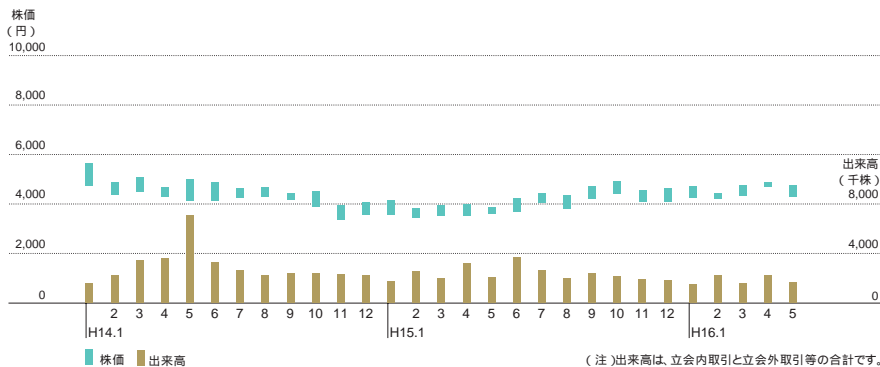
上記のほか当社所有の自己株式752,893株があります。

所有者別株式数比率



(注)自己株式752,893株(1.65%)は、「個人・その他」の欄に含めて記載しております。

株価推移



(注)出来高は、立会内取引と立会外取引等の合計です。

役員

(平成16年7月28日現在)

代表取締役社長	本庄八郎	常務取締役	木村吉久	取締役	田口 寛
代表取締役副社長	本庄大介	常務取締役	齋藤昭一	取締役	本庄洋介
取締役副会長	小田順一	常務取締役	小林義雄	取締役	本庄周介
取締役副社長	荻田 築	常務取締役	社 三雄	取締役	岡田 勉
取締役副社長	江島祥仁	常務取締役	中村安隆	取締役	安藤 達
取締役副社長	橋本俊治	取締役	三國 薫	常勤監査役	森 泰男
専務取締役	下田 淨	取締役	川相貴由	常勤監査役	宮崎晃一
専務取締役	伊藤 弘	取締役	廣瀬 昭	監査役	高澤嘉昭
専務取締役	渡辺 實	取締役	辻田忠治	監査役	佐藤利宏
常務取締役	早坂 功				

株主メモ

決算期	毎年4月30日(年1回)
配当金	利益配当金は、株主総会の決議により毎年4月30日の最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主または登録質権者にお支払いします。また、中間配当を行う場合は、取締役会の決議により毎年10月31日の最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主または登録質権者にお支払いします。
定時株主総会	毎年7月下旬
基準日	4月30日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告します。
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	(郵便番号168-0063) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 03(3323)7111(代表)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞
貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス	http://www.itoen.co.jp
お問い合わせ先	株式会社 伊藤園 IR室 03-5371-7197

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

株主優待制度

- 対象株主および優待内容
毎年4月30日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主のうち、
所有株式数100株以上1,000株未満の株主に対し、2,000円相当の自社製品を贈呈いたします。
所有株式数1,000株以上5,000株未満の株主に対し、3,000円相当の自社製品を贈呈いたします。
所有株式数5,000株以上の株主に対し、5,000円相当の自社製品を贈呈いたします。
- 贈呈予定時期
毎年1回7月下旬に贈呈いたします。



上記の製品は平成15年度の株主優待で送付したものと(2,000円相当)であります。

ありのままに。

無香料

国産茶葉100%

これが、お茶。



空容器の散乱防止・リサイクルに協力ください。

